

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成27年7月16日(2015.7.16)

【公表番号】特表2014-517694(P2014-517694A)

【公表日】平成26年7月24日(2014.7.24)

【年通号数】公開・登録公報2014-039

【出願番号】特願2014-512189(P2014-512189)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
A 6 1 K	31/711	(2006.01)
A 6 1 K	35/34	(2015.01)
A 6 1 K	35/76	(2015.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 K	35/12	(2015.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	9/04	(2006.01)
A 6 1 L	27/00	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
A 6 1 K	31/711	
A 6 1 K	35/34	
A 6 1 K	35/76	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 K	35/12	
A 6 1 P	9/10	
A 6 1 P	9/04	
A 6 1 L	27/00	
C 1 2 N	5/00	1 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成27年5月28日(2015.5.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

リボヌクレオチドレダクターゼサブユニットR1をコードする第一の核酸配列を含む第一のウイルスベクター及びリボヌクレオチドレダクターゼサブユニットR2をコードする第二の核酸配列を含む第二のウイルスベクターであって、該第一の核酸配列及び第二の核酸配列が、心臓特異的プロモーターと操作可能に連結されている、ベクターを含む、哺乳動物における心臓機能の改善用医薬組成物。

【請求項2】

第一及び第二のウイルスベクターがアデノ随伴ウイルスベクターである、請求項1記載の医薬組成物。

【請求項3】

哺乳動物がヒトである、請求項1記載の医薬組成物。

【請求項 4】

全身投与用である、請求項1記載の医薬組成物。

【請求項 5】

静脈内投与用である、請求項1記載の医薬組成物。

【請求項 6】

心筋内注入用である、請求項1記載の医薬組成物。

【請求項 7】

前記第一及び第二のウイルスベクターの少なくとも1つが形質導入レポーターをさらに含む、請求項1記載の医薬組成物。

【請求項 8】

第一及び第二のウイルスベクターが同一のベクターである、請求項1記載の医薬組成物。

【請求項 9】

リボヌクレオチドレダクターゼサブユニットR1をコードする第一の核酸配列を含む第一のウイルスベクター及びリボヌクレオチドレダクターゼサブユニットR2をコードする第二の核酸配列を含む第二のウイルスベクターであって、該第一の核酸配列及び第二の核酸配列が、心臓特異的プロモーターと操作可能に連結されている、ベクターを含む、医薬組成物。

【請求項 10】

前記第一及び第二のウイルスベクターが同一である、請求項9記載の医薬組成物。

【請求項 11】

L48Qアミノ酸置換を有するcTnC変異体をコードする核酸配列を含むウイルスベクターであって、該cTnC変異体が増加したCa²⁺結合親和性を有する、ベクターを含む医薬組成物。

【請求項 12】

I61Q及びL57Qから選択されるアミノ酸置換を有するcTnC変異体をコードする核酸配列を含むウイルスベクターであって、該cTnC変異体が減少したCa²⁺結合親和性を有する、ベクターを含む医薬組成物。

【請求項 13】

前記ウイルスベクターがアデノ随伴ウイルスベクターである、請求項11又は12記載の医薬組成物。

【請求項 14】

前記ベクターが、cTnC変異体をコードする核酸配列と操作可能に連結されたCMVプロモーターをさらに含む、請求項13記載の医薬組成物。